

## 森林総合研究所 関西支所

会期：2013年8月21日（水）～8月23日（金）2泊3日

現在の日本の山は、ほとんどが森で覆われ、その約4割はスギ・ヒノキなどの人工林です。しかし、その姿は時代々々で大きく変化してきました。多くの山では、50年もさかのぼれば、草地や畑、松林が広がり、もっとさかのぼれば、この伏見桃山のように山城や古墳だったところもあります。

このプログラムでは、日本の山と森の歴史および伏見桃山の歴史と地図について学びます。実習では、山や森の歴史調査の模擬演習として、地図から桃山の土地利用の変化や伏見城の名残を読み取り、GPSとGISを使って現地踏査（グランド・トゥルース）を行います。

過去を振り返りながら、今の日本の山や森について考えたいと思います。



明治天皇陵造営前の桃山(明治30年)



### 会場

森林総合研究所 関西支所  
京都府京都市伏見区桃山町永井久太郎68番地  
(近鉄京都線「近鉄丹波橋駅」より、徒歩約10分)  
URL: <http://www.ffpri.affrc.go.jp/fsm/>  
宿泊場所: アーバンホテル京都 (予定)

### 募集人数

12名

### キャンプのプログラム内容 (予定)

初日に2つの講義を受けた後、3班に分かれ、実習を行います。実習では、実際に桃山を歩き、土地利用の変化や伏見城の名残を調査します。

#### 【導入講義】

1. 日本の山と森の歴史
2. 伏見桃山の歴史と地図  
について、それぞれ担当研究者が説明します。

#### 【実習】

(1) 地図の位置合わせ  
地図同士を重ねたり、地図とGPSを連動させるために、地図の画像に緯度経度等の座標を与えます。

(2) 土地利用の変化や伏見城の名残を地図から抽出  
森林や竹林、畑などの土地利用、城や堀の跡、道の変化を地図で確認し、現地踏査したい箇所を選びます。

(3) GPSとGISを使った現地踏査  
地図で選んだ場所が今どうなっているか、GPSとGISを使って現地に行き、確認します。

(4) 会場に戻って現地踏査の結果を整理

#### 【発表】

班ごとに地図分析と現地踏査の結果を発表・討論します。

### スケジュール (予定)

**1日目 8月21日 (水)**  
14:00～14:30 集合受付  
14:30～15:30 開講式 / オリエンテーション  
15:30～17:15 導入講義: 1. 日本の山と森の歴史  
2. 伏見桃山の歴史と地図

**2日目 8月22日 (木)**  
9:00～12:00 実習 (屋内):  
(1) 地図の位置合わせ  
(2) 土地利用の変化や伏見城の名残を地図から抽出  
12:00～13:00 昼食  
13:00～15:00 実習 (屋外):  
(3) GPSとGISを使った現地踏査  
15:00～17:15 実習 (屋内):  
(4) 現地踏査の結果の整理  
17:15～19:15 講師等との交流会

**3日目 8月23日 (金)**  
9:00～12:00 まとめ・発表準備  
12:00～13:00 昼食  
13:00～14:00 発表  
14:00～15:00 総評・閉講式・解散  
※1、2日目の夜は宿舎でミーティングを行います。

### プログラムの関連図書、Webサイト紹介

参考図書:

- ・「日本人はどのように森をつくってきたのか」  
著者: コンラッド・タットマン  
出版社: 築地書館 (3,045円)
- ・「森と草原の歴史」  
著者: 小椋純一 出版社: 古今書院 (5,460円)

関連サイト:

- ・京都市歴史資料館「フィールド・ミュージアム京都」-伏見城-  
[http://www.city.kyoto.jp/somu/rekishi/fm/fmindex/zikou\\_frame.html](http://www.city.kyoto.jp/somu/rekishi/fm/fmindex/zikou_frame.html) から「伏見城」を選ぶ。

会場からのひとこと

この会場の住所は、京都市伏見区桃山町永井久太郎68番地です。「永井久太郎 (きゅうたろう)」って変な地名ですね。このプログラムに参加して、この地名の由来を解明してみませんか？